

『職種別 最新！傾向対策講座』(KL15057)

訂正表

2017年1月27日現在

ページ	訂正箇所	訂正内容	掲載日
P. 96	[No. 18] 解説 肢2 全文	誤 2 × インドにおける, 2009年の対前年増加率の50%と, 2010年の対前年増加率を概算すると, $2009年: \frac{266166-248039}{248039} \times 0.5 \doteq \frac{266-248}{248} \times 0.5 = \frac{9}{248}$ $2010年: \frac{276243-266166}{266166} = \frac{276-266}{266} = \frac{10}{266}$ $\frac{9}{248} \text{と} \frac{10}{266} \text{を比較するのに, } (9 \times 266) \text{と} (10 \times 248) \text{を比較すると,}$ $9 \times 266 = 2394 < 10 \times 248 = 2480 \quad \Leftrightarrow$ $\frac{9}{248} < \frac{10}{266}$ となるから, 2010年の対前年増加率のほうが大きいため, 誤りである。	2017/1/27
		正 2 × インドにおける, 2009年の対前年増加額の50%と, 2010年の対前年増加額を概算すると, $2009年: (266166-248039) \times 0.5 \doteq (266000-248000) \times 0.5 = 9000$ $2010年: (276243-266166) \doteq (276000-266000) = 10000$ となるから, 2010年の対前年増加額のほうが大きいため, 誤りである。	
P. 124	[No. 43] 解説 肢1	誤 1 × 地震が発生した場所を震源, 震源の真上の地表点を震央, 震央から観測点までの距離を震源距離という。震央から震源までの距離は震源深さである。	2017/1/27
		正 1 × 地震が発生した場所を震源, 震源の真上の地表点を震央, 震源から観測点までの距離を震源距離という。震央から震源までの距離は震源の深さである。	
P. 166	14行目	誤 $\Delta (E-M) = -0.1 \Delta Y = 0.1 \times 1000 = -100$	2016/07/12
		正 $\Delta (E-M) = -0.1 \Delta Y = \underline{\underline{-0.1}} \times 1000 = -100$	

※「掲載日」は, 上掲訂正情報がLECホームページの『公務員 テキスト改訂・修正情報一覧』(<http://www.lec-jp.com/koumuin/info/kaitei>)に掲載された日付です。